

gallery 176 運営メンバー合同展 「gallery 176 回顧と展望 2018 - 2019」

作家名：gallery176運営メンバー

(友長勇介、松原豊、布垣昌邦、木村準、西川善康、早川知芳、坂東正沙子)

会場：gallery 176 (ギャラリー イナロク)

大阪府豊中市服部元町1-6-1 / 阪急宝塚線 服部天神駅(梅田から11分)下車 徒歩1分

会期：2019年3月29日(金)～4月7日(日) *会期最終日の曜日が通常と異なります

休廊日：3月31日(日)～4日(木) *休廊日が通常と異なります

開廊時間：13:00～19:00

企画：gallery 176 早川知芳

展示概要：

2016年9月より現体制で運営が始まったgallery 176。2年半が経過した2019年春、運営メンバーによる合同展を開催します。テーマは「回顧と展望」です。2019年の活動も更に活発になる予感がする中、各メンバーがそれぞれに抱く「回顧と展望」、「2019年へのメッセージ」を展示します。

また、同時に2018年のgallery 176での展覧会やイベントを振り返ります。2018年のgallery 176の活動は、gallery176での展示やイベントの他、TAIWAN PHOTOへの出展や他ギャラリーでの展示活動（交流展）も行いました。

展示構成：

展示壁面を6分割し、各メンバーに割り当てられた展示スペース内にて、それぞれの回顧と展望を展示する。作品及び関連商品の販売も予定しています。



2018年7月「写真展示販売会」の展示風景

関連イベント

写真を観る会 #3

gallery 176 運営メンバーの布垣が、作品作りをしているが作品発表の場が無い方、発表方法がわからない方等の作品を拝見し、作品作り、展覧会開催などのアドバイスをします。参加された方は、gallery 176での写真展開催（メンバー布垣の企画として、費用は別途必要）の可能性があります。

開催日：2019年3月31日(日) *当日は写真を観る会参加者のみ入廊可能です

開催時間：13:00～／14:00～／15:00～／16:00～（4回開催、各回30～45分程度）

募集対象：

個展開催未経験（グループ展参加はOK）の若手、中堅の写真作家（作家志望含む）、年齢不問、ただし自ら作品を制作している方

参加費：1,500円（要予約）

定員：各回 1名

参加者にご用意していただくもの：

各自の作品、作品はキャビネ（2L）～六つ切り（A4）サイズ程度で20～25枚程度（個展が開催できる枚数）。作品はファイルに綴じていても構いませんが、机に作品を全てを並べて観る予定なので、すぐに取り出せるようにしておいてください。作品はデータは不可で必ずプリントで持参して下さい。作品は個展開催を想定してまとめたものが望ましいです。

担当：布垣昌邦＋ギャラリー運営メンバー

プロフィール

友長 勇介

略歴

大阪府豊中市在住、gallery 176 オーナー、写真家、映像作家
1994年 中国北京電影学院漢語科修了
1996～97年 映画監督原一男作品「映画監督浦山桐郎の肖像」に助監督として参加
1998～99年 (株)サウンドデザインユルタ 録音技師弦巻裕、滝澤修の録音助手
2000年 東京工芸大学芸術別科写真専攻修了
2000年 コニカフォト・プレミオ「北京溶解」コニカプラザ(東京)
2000年 「からだの学校・コルプス 16期展」the deep (監修森山大道) (渋谷)
2001年 第17回 3.3坪(ひとつぼ)展「終焉」ガーディアン・ガーデン (東京)
2005～09年 写真専門ギャラリー「gallery 176」運営
2006年 「new visions of japanese photography」展 巢雅 gallery (上海)
2010年 「占領期雑誌フォトス vs 現代若者の眼力(めぢから)」展 早稲田大学 (東京)
2011年 映画「新世界の夜明け」(監督リムカーワイ) プロデューサー担当 (東京)
2013年 「Landscape of Particle 粒子の景色」展 新潟絵屋(企画石井仁志) (新潟)

コレクション

清里フォトアートミュージアム (2000年、2001年、2003年)
東京工芸大学写大ギャラリー/上海視覚芸術大学/延辺大学芸術学院

gallery 176 関連展示

2016年 gallery 176 再開企画「176 reborn」(gallery 176)
2017年 よしとみフォトフェスティバル (吉富ノ庄、京都府南丹市)、写真展「写真素志」
(gallery 176)、TAIWAN PHOTO 2017「複眼凝視」(新光三越、台北市、台湾)
2018年 よしとみフォトフェスティバル (吉富ノ庄、京都府南丹市)、TAIWAN PHOTO 2018
「猫」(新光三越、台北市、台湾)



© TOMONAGA Yusuke 「猫」

松原 豊

略歴

三重県津市在住、写真家、gallery0369(三重県津市美里町) 主宰
名古屋ビジュアルアーツ卒業、名古屋ビジュアルアーツ非常勤講師
公益社団法人日本写真家協会会員、写真好學研究所所長
2011年 写真集「村の記憶」(月兎舎) 発刊
2011年 写真展「村の記憶」(新宿、大阪ニコンサロン)
2012年 三重県津市文化奨励賞受賞
2013年 第62回伊勢神宮式年遷宮記録写真担当(御遷宮対策委員会)
2014年～ 日本のランドスケープを様々な視線で捉えた新しい写真グループ NODE に参加
2015年 写真展「三重の銭湯」(Gallery Volvox、三重県津市)
2015年 植島啓司氏との共著「伊勢神宮とはなにか日本の神は海からやってきた」(集英社ビジュアル新書、撮影担当)
2019年 台北で写真展開催予定

連載

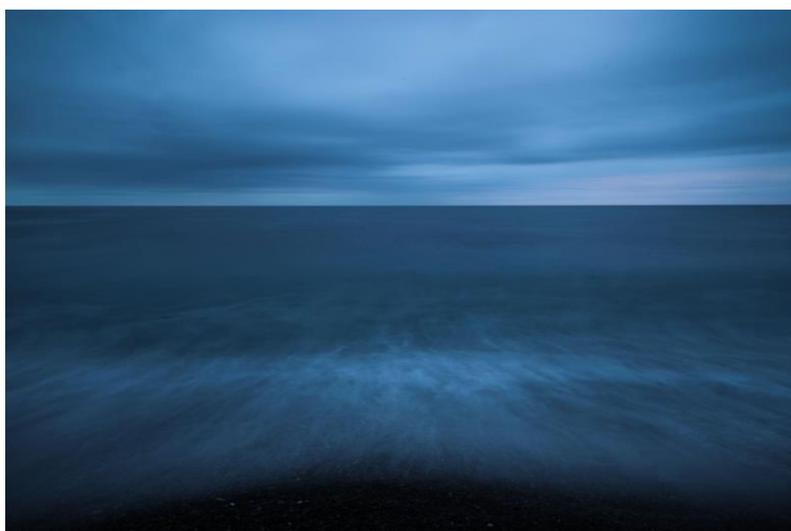
ムロウノクニ (KUMANO JOURNAL)

gallery 176 関連展示

2016年 gallery 176 再開企画「176 reborn」(gallery 176)
2017年 よしとみフォトフェスティバル(吉富ノ庄、京都府南丹市)、TAIWAN PHOTO 2017「Local public bath」(新光三越、台北市、台湾)、写真展「Local public bath」(gallery 176)
2018年 よしとみフォトフェスティバル(吉富ノ庄、京都府南丹市)、写真展「青森」・幻灯会「青森」(gallery176)、TAIWAN PHOTO 2018「Local public bath」(新光三越、台北市、台湾)

web サイト

<https://www.matsubara-yutaka.com/>



© Matsubara Yutaka 「七里御浜 (三重・熊野) 2017」

布垣 昌邦

略歴

大阪府茨木市在住

写真家

2003年 ビジュアルアート写真学科夜間部卒業

2007年 コニカミノルタフォトプレミオ受賞

2008年 洛中洛外観察日記 個展 (gallery 176)

2012年 生と志 (How are you photography 展・同時代ギャラリー)

2014年 noah (ギャラリー10:06)

2015年 route_31 (How are you photography 展・同時代ギャラリー)

その他、現在までコンスタンスに個展開催

gallery 176 関連展示

2016年 gallery 176 再開企画「176 reborn」 (gallery 176)

2017年 写真展「青の時代」 (gallery 176)

2018年 交流展「洛中洛外観察日記 其の式」 (TOTEM POLE PHOTO GALLERY、東京)



© NUNOGAKI Masakuni 「洛中洛外観察日記」

西川 善康

略歴

大阪府枚方市在住

デザイナー、写真家

千葉大学園芸学部造園学科卒業

2000～2001年 インターメディウム研究所（IMI）にて写真、デザインを学ぶ

2000年～ フリーで写真撮影、ビデオ撮影及び編集、web及び印刷物デザイン等を行う

2001年 グループ展 Photo Exhibition Horie 2001「見えない街 -sense of place」（堀江、大阪）

2002～2005年 写真専門ギャラリー「NADAR」にスタッフとして参加

2002年 二人展「融解／昇華」（NADAR、大阪）

2010年～ 京都の造園会社の依頼により、日本庭園の写真及び映像撮影を行う

gallery 176 関連展示

2016年 gallery 176 再開企画「176 reborn」（gallery 176）

2017年 よしとみフォトフェスティバル（吉富ノ庄、京都府南丹市）、写真展「こどもかると」（gallery 176）、TAIWAN PHOTO 2017「garden materials」（新光三越、台北市、台湾）

2018年 よしとみフォトフェスティバル（吉富ノ庄、京都府南丹市）、TAIWAN PHOTO 2018「植物 plants」（新光三越、台北市、台湾）、写真展「DAVAO 1996-1999」（gallery 176）

web サイト

<https://mitikusa.net/>



© NISHIKAWA Yoshiyasu 「植物 plants」

早川 知芳

略歴

大阪府河内長野市在住

釣人

大阪芸術大学中退

公益社団法人日本写真協会（PSJ）会員

1995年に大学を休学し、パリ、テルアビブ、エルサレム、ヨルダン川西岸地区と渡り歩く。旅費と生活費と帰国費用はテルアビブの日本料理店で2ヶ月無休で働き得る。帰国後、大学を退学する。

2000年に約1年間、南米に滞在する。ブラジルに拠点を置きアマゾン河で釣りをしたりアンデス山脈をバスで越えたり、イースター島へ渡ったりして過ごす。

帰国後、広告写真家の助手になり後に独立し現在に至る。

2012年より京都写真クラブ主宰 How are you, PHOTOGRAPHY?展に参加

2013年より大阪写真月間 150人一坪展に参加

2016年 宝号山稱念寺の平成大修理の記録撮影・竣工撮影・落慶法要撮影・記念写真集作成を担当する。

2016年 APA アワード 入選

NPO 法人ジャパングームフィッシュ協会（JGFA）会報誌の表紙担当など

gallery 176 関連展示

2018年 よしとみフォトフェスティバル（吉富ノ庄、京都府南丹市）、写真展「静かの海 Mare Tranquillitatis」（gallery 176）



© HAYAKAWA Tomoyoshi 「静かの海」

坂東 正沙子

略歴

大阪府寝屋川市在住

写真家

2008年 個展「sublimate」 galleria-punto (岡山)

2009年 グループ展「同時代展」 同時代ギャラリー (京都)

web サイト

<http://masakobando.com/>



© Masako Bando 「Untitled」

お問い合わせ先

gallery 176 運営メンバー合同展に関するご質問、メディア掲載用画像の提供等のお問い合わせは、下記までお願い致します。

gallery 176 (ギャラリー イナロク)

担当：早川知芳

tel：050-7119-9176

e-mail：info@176.photos